

山田銅戸塚金

スノボ男子ハーフパイプ

日本勢2大会連続V



男子ハーフパイプ決勝 技を決める戸塚優斗＝リビニョ(共同)



男子ハーフパイプ決勝 演技する山田琉聖＝リビニョ(共同)



男子ハーフパイプで金メダルを獲得した戸塚優斗(左)と銅メダルの山田琉聖＝リビニョ(共同)

【ミラノ共同】ミラノ・コルティナ冬季五輪第8日の13日、スノーボード男子ハーフパイプで戸塚優斗(24)＝ヨネックス＝が金メダル、山田琉聖(19)＝専門学校JWSC・妙高市＝が銅メダルを獲得した。前回北京五輪覇者の平野歩夢(27)＝TOKIOインカラム・村上市出身＝は7位。2大会連続で日本勢が頂点に立った。

神奈川県出身で2021年世界選手権覇者の戸塚は、五輪3度目の出場。北海道出身の山田は今季ワールドカップ(W杯)初制覇の新鋭。この種目で日本選手2人が表彰台に上がるのは、14年ソチ五輪「銀」の平野歩、「銅」の平岡卓以来となった。今大会のスノーボードの日本勢は金3、銀1、銅2。

